

本稿は、11月7日時点で利用可能であった  
情報をもとに記述されている。

2011年11月8日  
日本銀行水戸事務所

## 茨城県金融経済概況(2011年10月)

### 1. 概 要

県内景気は、輸出が好調を継続したほか、個人消費も総じて堅調に推移し、殆どの業種で引き続きほぼフル生産となるなど、全体として持ち直しの動きが続いている。先行きについても緩やかな回復経路に復していくことが期待されるが、当面は海外経済や為替相場の動向など下振れリスクに留意する必要がある。

最終需要をみると、輸出は、総じて好調を継続している。設備投資は、製造業が前年を上回る計画となっている。個人消費は、家電販売が前年を下回っているが、乗用車販売が前年を大きく上回るなど、全体としては堅調に推移しているものとみられる。一方、公共投資や住宅投資は減少している。

こうした中で、殆どの業種がほぼフル生産を継続している。

雇用・所得環境は、有効求人倍率などの改善傾向が続いている。

消費者物価(除く生鮮食品)は、新基準では8か月連続して前年を下回った。

金融面をみると、預金残高が引き続き高い伸びとなっており、企業金融も総じて落ち着いた状況が続いている。

## 2. 実体経済

### (1) 公共投資

9月の公共工事請負金額(工事場所ベース)は、県や市町村からの発注が前年を下回り、全体でも3か月連続して前年を下回った。

▽ 公共工事請負金額(工事場所ベース) (前年比、%)

	2011年 1～3月	4～6月	7～9月	2011年 6月	7月	8月	9月
茨城県	▲1.6	2.5	▲11.6	0.7	▲4.1	▲22.7	▲6.1
全国	▲3.2	▲9.3	▲3.4	▲3.4	▲15.9	3.5	3.3

### (2) 輸 出

一般機械(建設機械等)の一部では中国向けの減少がみられるものの、全体では、鉄鋼、輸送用機械(自動車部品等)などを中心に好調を継続している。

### (3) 設備投資

9月短観調査(企業短期経済観測調査)結果をみると、2011年度の設備投資は、電気機械などで被災した設備の復興投資が実施されるほか、海外需要が好調な一般機械(建設機械等)や輸送用機械(自動車部品等)などで能力増強投資が見込まれており、製造業では前年を3割方上回る計画に上方修正されている。

#### (4)個人消費

9月の大型小売店売上高(日本銀行水戸事務所調べ、11 か店ベース)は、主力の秋物衣料品の売り上げが天候要因もあって伸び悩み、全体でも前年を僅かに下回った。

10月入り後は、各種催事の効果もあり、衣料品、食料品、身の回り品などが堅調に推移している模様。

#### ▽ 大型小売店売上高 (前年比、%)

		2011年 1～3月	4～6月	7～9月	2011年 6月	7月	8月	9月
茨城県	日本銀行水戸事務所調べ	▲11.9	▲0.5	1.9	2.4	5.6	0.3	▲0.8
	経済産業省調べ	▲4.8	1.0	n.a.	1.7	4.6	0.2	p▲0.4
全国	経済産業省調べ	▲2.6	▲1.6	p▲1.7	▲0.5	0.8	▲2.6	p▲3.6

(注)「p」は速報値。

10月の乗用車新車登録台数は、供給制約の解消に加え、前年同月の登録台数が大幅に減少していたこともあり、前年を大きく上回った。

#### ▽ 乗用車新車登録台数 (前年比、%)

	2011年 1～3月	4～6月	7～9月	2011年 7月	8月	9月	10月
茨城県	▲26.1	▲39.3	▲20.7	▲27.8	▲34.2	0.0	28.1
うち普通・小型	▲30.3	▲41.5	▲25.4	▲34.1	▲39.1	▲1.6	27.0
全国	▲25.6	▲33.6	▲17.8	▲25.6	▲26.0	▲2.1	27.5
うち普通・小型	▲28.6	▲36.5	▲19.8	▲30.0	▲29.5	0.8	28.3

このところの家電販売状況をみると、新商品が発売された携帯電話や災害対策・節電用の石油ストーブなど暖房器具の売り上げは伸びているものの、薄型テレビやDVDプレーヤー等の売り上げ減少が続いており、全体でも前年を大きく下回っている模様。

観光については、県内からの国内旅行に回復の兆しがみられたものの、県内の主要観光施設等への入り込みは、厳しい状況が続いている模様。

## (5)住宅投資

9月の新設住宅着工戸数は、住宅エコポイント適用期限(7月末)前の駆け込み着工の反動もあり、2か月連続して前年を大きく下回った。

▽ 新設住宅着工戸数 (前年比、%)

	2011年 1～3月	4～6月	7～9月	2011年 6月	7月	8月	9月
茨城県	2.4	▲4.0	▲3.5	▲12.7	49.5	▲22.2	▲25.5
うち分譲	▲8.0	21.4	▲47.2	24.2	▲23.2	▲62.1	▲42.5
全国	3.2	4.1	7.9	5.8	21.2	14.0	▲10.8
うち分譲	21.9	24.0	16.7	21.6	33.2	31.2	▲7.7

## (6)生産

輸出の好調を背景に、多くの業種でフル生産が続いている。

この間、タイの洪水の影響については、輸送用機械(自動車部品等)の一部で自動車メーカーの減産の影響が懸念されているが、一方で代替部品の発注増に期待する声も聞かれる。

▽ 鉱工業生産指数 (季節調整済指数の前月<期>比、( )内は原指数の前年比、%)

	2011年 1～3月	4～6月	7～9月	2011年 6月	7月	8月	9月
茨城県	▲5.9 (▲8.3)	▲3.4 (▲7.1)	n.a. (n.a.)	9.8 (10.7)	▲5.1 (▲3.5)	0.2 (1.0)	n.a. (n.a.)
全国	▲2.0 (▲2.5)	▲4.0 (▲6.8)	p 4.1 (p▲2.4)	3.8 (▲1.7)	0.4 (▲3.0)	0.6 (0.4)	p▲4.0 (p▲4.0)

(注)「p」は速報値。

## (7)雇用・所得環境

有効求人倍率の改善が続き、新規求人数も増加するなど、雇用環境は厳しい中にも改善傾向が窺われる。

一方、所定外労働時間は、前年比伸び率が低下している。

▽ 有効求人倍率 (季節調整済、倍)

	2011年 1～3月	4～6月	7～9月	2011年 6月	7月	8月	9月
茨城県	0.60	0.61	0.66	0.62	0.65	0.67	0.68
全国	0.62	0.62	0.66	0.63	0.64	0.66	0.67

### 3. 物 価

8月の消費者物価(除く生鮮食品)は、新基準の下でウェイトが高まったテレビ、パソコン等の値下がりにより、8か月連続して前年を下回った。

▽ 消費者物価指数(生鮮食品を除く総合) (前年比、%)

	2011年 1～3月	4～6月	7～9月	2011年 6月	7月	8月	9月
茨城県	▲0.6	▲0.6	n.a.	▲0.7	▲0.2	▲0.2	n.a.
全 国	▲0.8	r▲0.3	0.2	▲0.2	0.1	0.2	0.2

(注)1.茨城県、全国とも2011年1月以降は、2010年基準。

2.rは改訂値。

### 4. 金 融

#### (1)預金・貸出

9月末の県内金融機関の預金残高は、震災後の手許資金積み増しや地震保険金の入金などの影響から、14兆6,900億円、前年比+4.7%と高い伸びが続いている。

一方、貸出残高は、7兆3,984億円、同▲0.8%と19か月連続して前年を下回った。

#### (2)貸出約定平均金利

9月末の県内金融機関の貸出約定平均金利(ストックベース)は、2.163%と11か月連続して前月を下回った。

#### (3)銀行券

10月中の銀行券の動きをみると、発行が527億円、還収が158億円で、368億円の発行超となった(前年は367億円の発行超)。

#### (4)企業金融

9月短観調査結果でも、製造業を中心に資金繰りが苦しいとする先が引き続きみられた(製造業の資金繰り判断 D.I.「苦しい」超幅▲8<6月調査▲7>)が、復興支援のための各種融資・保証の利用もあり、総じて落ち着いた状況が続いている。

### 5. 企業倒産

10月の企業倒産(負債総額10百万円以上)は、件数(17件)、負債総額(11億円)ともに、前年を下回った。

以 上